

検修大合理化 2月1日強行実施 粉碎！

日刊 動労千葉

83, 1, 26
No. 1250

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

青年部、局前に総決起（1/24）

動労千葉青年部は、一月二十四日夕刻より寒風をうけて千鉄局前において検修を中心に一四〇名の仲間を集結し、「検修合理化粉碎、三里塚二期阻止、中曽根内閣打倒」総決起集会を開催し、検修下回り合理化の二月一日強行実施に対する怒りの反撃に立ちあがった。

青年部通信員・巻

集会は、おりしも眼前の局において交渉が行なわれている只中ではじめられ、まず参加者は、交渉組合員に対する激励と千鉄局に対する心の底からの怒りのシュプレヒコールを発していった。

昌頭発言に立つた関川委員長は「国鉄労働運動破壊のための検修合理化に対して、今こそ青年部は怒りを組織化し、闘いの先頭で奮闘しなければならぬ」と訴えた。つづいて三里塚反対同盟より北原事務局長が激励と連帯の挨拶にたち「国鉄と三里塚との結合で超反動中曽根内閣を打倒しよう。そのためにも3・27現地闘争の爆発を勝ち取り、四月中江船橋・北原成田市議選に勝利することが絶対的に必要である」と熱烈にアピールした。

2・1強行実施を許すな ―田中青年部長が基調提起―

こうしたなか、交渉を終えた検査検修分科会がかけつけ、斉藤（常）会長ら交渉団が全員の拍手で迎えられ壇上に立った。

そして、代表して林事務長から交渉の経過と闘いの展望についての報告をうけていった。つづいて国労津田沼電車区分会の田中青年部長が挨拶にたち、「国労も動労千葉の仲間と固く連帯して闘う」という力強い連帯表明がなされ、万雷の拍手で確認していった。

つづいて本部田中青年部長が基調報告にたち、「まず第一に、検修下回り合理化の二月一日強行実施に対して、全青年部員は本日

して、怒りの非協力・減産闘争突入体制へ決起せよ。第二に、『日本の対ソ不沈空母化』発言で明らかとなった軍拡と改憲・増税と行革の超反動中曽根内閣を打倒せよ。第三に、3・27総決起と中江・北原選挙戦勝利を必ず勝ち取れ。第四に、この間の政府・支配者側からの凶暴な攻撃に対して労働者・人民は三里塚を基軸に実力闘争で対抗していかなくてはならない。第五に、国鉄・三里塚の敵「革マルを粉碎せよ」と熱烈に提起した。

闘いを牽引した検修四支部共闘

集合同いよいよ最高潮に達するなか、各支部からの闘いの報告と決意表明へと移っていった。陽も完全に沈み寒さも一段と厳さを増すにもかかわらず参加者は怒りと熱気を一層みなぎらせ、各発言者に対して圧倒的な拍手で応えていった。そのあと昨年九月に結成された検修四支部青年部連帯会議の四支部の仲間から戦場の現状と反撃の闘いの生き生きした報告がされ、連帯会議の最後に石幡代表世話人（幕張支部青年部長）が「連帯会議は、二月一日強行実施粉砕に向けて最先頭で闘う。3・27三里塚、四月中江・北原選挙戦勝利を闘い取る」と挨拶した。このあと新藤常任の決意表明、決議文採択で集会を終了していった。

集会の成功を勝ち取った全参加者は、集会終了後ただちに怒りの局前デモンストレーションを展開し、われわれ動労千葉青年部の意気どみを当局に叩きつけ、非協力・減産闘争準備体制突入を宣言したのである。

中江選挙闘争の勝利をかちとろう！
「一人5票獲得運動」を強化しよう！



（連日の団交の闘いが行われている千鉄管理局にむけて、検修職場の仲間は職場闘争に続き局弾劾闘争に決起した。1月24日）



（「検修合理化を許さないぞー！」現場青年労働者の怒りのシュプレヒコールに、当局は玄関のシャッターを降して逃げをきめこむ。）

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！